

単身、困窮、障害のある人が暮らせる「支援付き地域」 ～認知症になっても、地域で孤立せず、最期まで～

ふるさとの会・支援付き住宅推進会議 共催シンポジウム

【基調講演】

辻 哲夫 氏 「居住、生活、就労支援システムの普遍化を目指して
－柏プロジェクトからの問題提起－」

東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授／元厚生労働事務次官

【パネルディスカッション】

(コーディネーター)

岡田 太造 氏

兵庫県立大学大学院経営研究科 客員教授／元厚生労働省社会・援護局長

(パネリスト)

岡村 毅 氏 「高齢生活困窮者の特徴、動態、支援論」

東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と介護予防研究チーム研究員／東京大学医学部

辻井 正次 氏 「仲間と街で暮らす－障害ある人が地域で暮らすために必要な場と仕組みを考える－」

中京大学現代社会学部 教授／特定非営利活動法人アスペ・エルデの会のCEO・統括ディレクター

山脇 絵里子 氏 「都庁担当記者から見た高齢者ケアの課題」

一般社団法人共同通信社 社会部次長

滝脇 憲

ふるさとの会 常務理事

(コメント)

辻 哲夫 氏

(総括)

高橋 紘士

高齢者住宅財団特別顧問／支援付き住宅推進会議共同代表

〈主催〉 特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会

〈共催〉 支援付き住宅推進会議

日時：2017年12月16日 (土)

13:30～17:15 (開場13:00)

場所：サンパール荒川－荒川区民会館-第7集会室

定員：100名(要申込) 参加費(資料代):1,000円

【お問い合わせ先】

特定非営利活動法人

自立支援センターふるさとの会 事務局

東京都台東区千束4-39-6-4F

TEL:03-3876-8150

FAX:03-3876-7950

E-mail:info@hurusatonokai.jp



【開催趣旨】生活困窮者の支援においては、高齢者への対応や、居住・生活の支援が重要さを増しています。ふるさとの会では、障害があっても、認知症になっても地域で支え合い、暮らし続けられる環境をつくろうと試行錯誤してきました。また、長年の取り組みを通して生活支援の雇用を創り出し、利用者とともに働いてきました。

今秋は、新たな住宅セーフティネット制度が施行され、また、生活保護受給者に対する生活支援についても、環境づくりの検討が進められています。私たちは、これらの制度の動きに期待を寄せながらも、居住・生活支援の意味や事業の仕組みを確立するには、実績の検証や議論が更に必要であると考えています。

今後、さまざまな生きづらさを抱える人とともに、地域の支援力を高めていくには、どのような居住支援、生活支援、就労支援が求められるのか。また、民間の取り組みは、住宅や福祉の制度とどのように連携していくことができるのか。2025年以後の社会の姿も展望しつつ、皆さまと考え、討議していきたいと思えます。

12.16 ふるさとの会シンポジウム申込書

【会場案内図】 サンパール荒川 - 荒川区民会館 -

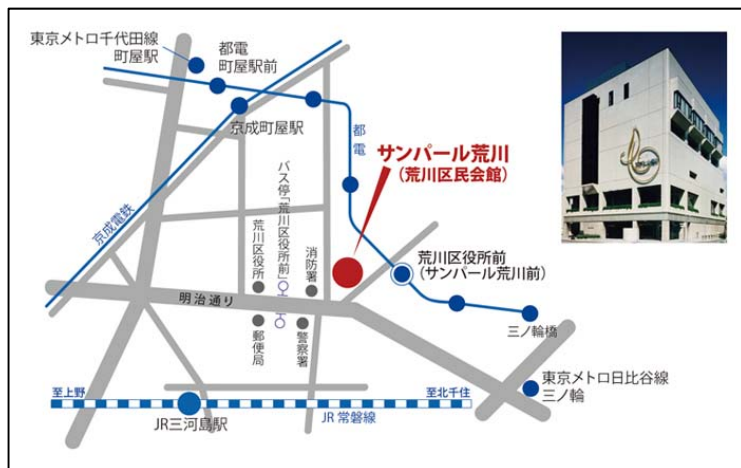
東京都荒川区荒川 1-1-1

【東京メトロ】

・日比谷線三ノ輪駅下車 南千住方面改札を出て明治通りを王子方面へ徒歩12分（荒川警察署向い）

【都バス】

・JR日暮里駅東口より「里22」亀戸行き → 荒川区役所前下車 徒歩2分



<お問い合わせ & お申込先>

特定非営利活動法人自立支援センターふるさとの会事務局

TEL : 03-3876-8150 FAX : 03-3876-7950 E-mail info@hurusatonokai.jp

※参加ご希望の方は、下記にご記入の上、FAXにてお申込下さい。なお、メールからもお申し込みいただけます。

※お申込受付の際、受信確認の FAX もしくはメールを返信いたします。3日以内（土日・祝を除く）に返信がない場合は、ご連絡ください。

フリガナ	
ご氏名	
所属団体	
部署名	
役職	
ご連絡先	TEL
	FAX
メールアドレス	(メールマガジンの配信) 希望する ・ 希望しない